第 35 回兵庫県女性バスケットボール連盟優勝大会結果一覧表

会 場：いなみ野体育センター

一般チーム

第1日目：平成　26年　4月　20日（日）

Aコート							
コート順序	ゲーム	チーム名	得点			チーム名	審判	戦評
A-2	①	CZ倶楽部	20	7 － 12 4 － 15 5 － 16 4 － 19	62	アゲインズ	西 俊則 吉田 明子	第1ピリオド、アゲインズが先行した形で始まる。CZ倶楽部も粘り強くリバウンドを取り、得点に繋げる。第2ピリオド アゲインズ#6の速攻や速いパス回しのシュートが決まり点差が広がる。第3ピリオドも終始アゲインズのペース。アゲインズの手堅いディフェンスでCZ倶楽部攻め倦む。第4ピリオドCZ倶楽部、最後まで善戦するもアゲインズが押し切った。
A-4	③	リトルパンダ	30	13 － 6 2 － 7 8 － 11 7 － 10	34	西神ママドル	福田 祥寛 西川 知佐子	第1ピリオドスタートから4対0で西神ママドルがリードするが、リトルパンダ＃15の3Pシュート、フリースローが決まると流れはリトルパンダへ。第2ピリオドには入り、点が動かず互角のディフェンスだったが、残り2分で西神ママドルが走り、勝ち越し2点差で折り返す。後半双方共に体がよく動き、入れたら入れ返す。パスカット、ジャンプボールとボールに対する意欲は衰えず、第3ピリオドは互角の戦い。最後まで両チーム基本に忠実で好ゲームも西神ママドルが粘り勝ちとなった。

Bコート							
コート順序	ゲーム	チーム名	得点			チーム名	審判	戦評
B-2	②	ビッグママ	30	11 － 12 9 － 9 2 － 14 8 － 0	35	芦屋シーサイド	福田 祥寛 榎本 昌子	第1、2ピリオドは互いにミスを誘いつつ互角の戦いを展開したが、第3ピリオドで芦屋シーサイドが速攻や#15のリング下等、連続ゴールで均衡を破り点差を広げた。第4ピリオドでは、ビックママも粘りを見せるも追いつくことが出来なかった。
B-4	④	Funnyゴールド	47	16 － 10 12 － 2 9 － 9 10 － 4	25	TMC	西 俊則 藤原 伸一	両チームマンツーマンディフェンススタート。Funnyゴールドの3Pシュートが4本決まり第1ピリオド終了。第2ピリオドFunnyゴールドのディフェンスが良く、TMCは攻めあぐね、点差をつけられる。第3ピリオドFunnyゴールドの手堅い攻めにTMCは手こずる。最終ピリオドTMCがなんとかリズムを掴もうとしたが、Funnyゴールドが逃げ切った。

第2日目：平成　26　年4　月27　日

Aコート

コート順序	ゲーム	チーム名	得点			チーム名	審判	戦評
A-1		CZ倶楽部	17	4 － 11 4 － 15 3 － 16 6 － 10	52	ビッグママ	岡田　泰英 内田　理恵	前半ビックママの先制、その後も3Pシュートとインサイド両方で猛攻。一方、CZ倶楽部はビッママの気迫ある厳しいディフェンスに終始攻め倦む。後半ビックママの厳しく粘り強いディフェンスでCZ倶楽部のミスを誘い、得点を重ねる。CZ倶楽部もスクリーンを使って攻めるが、得点が決まらずビックママが押し気味の試合だった。
A-3	⑤	エンドレス	45	14 － 8 13 － 7 12 － 8 6 － 6	29	アゲインズ	日高　昇 能田　浩三	第1ピリオド、両チーム共にスピード感あふれるプレーで熱戦を繰り広げるがエンドレスの連続3Pシュートでややエンドレスが優位に立つ。第2ピリオドに入り、アゲインズも気迫に満ちた攻撃で応酬するが点差は縮まらない。第3ピリオドは、ほぼ互角の戦いかと思われたが残り2分エンドレスがなおも攻撃の手を緩めない。押され気味のアゲインズはリバウンド後に速攻を仕掛けるが決め手に欠く。第4ピリオドまで主導権を握ったエンドレスが逃げ切った。
A-4		ビッグママ	44	11 － 6 10 － 5 14 － 5 9 － 11	27	リトルパンダ	西　俊則 中尾　晃志	両チーム共、ハーフマンツーで始まる。第1ピリオド、ビックママのディフェンスの当たりが強くボールを支配し、ビックママ#14から出るリードパスが出されビックママ#18の先制を皮切りに点数を重ねるも、当たりの強さからファールが増えリトルパンダはフリースローを確実に決め前半を終える。後半開始、ビックママの粘りつよいディフェンス、リバウンドによりビックママが波に乗り得点を重ねていく。第4ピリオド両チーム共、パスカットからの速攻の場面が多く見られるものの得点に結びつかず、ビックママが逃げ切る形で勝利を手にした。
A-5	⑦	Hime　G！	53	5 － 3 12 － 5 20 － 2 16 － 8	18	西神ママドル	松尾　佳代子 今井　彩代	第1ピリオド、序盤から両チーム共徹底的に守り得点に結びつく事が出来ない。第2ピリオド、Hime G! #13の連続シュートが決まりリズムを掴む。西神ママドルも速いパス回しで攻めるが点差が縮まらない。第3ピリオド、Hime G!ペースで試合を進め点差が広がる。両チーム共にルーズボールに対して積極的に取るが、Hime G!が細かいミスを得点につなげる。第4ピリオド、西神ママドル#9のシュートやリバウンドが得点につながる。しかし、Hime G!は主導権を譲らず勝ちを得た。

Bコート

コート順序	ゲーム	チーム名	得点			チーム名	審判	戦評
B-1		リトルパンダ	22	9 － 2 3 － 5 0 － 12 10 － 10	29	TMC	西　俊則 中尾　晃志	第1ピリオド、リトルパンダはスピードあるパスワークで得点を重ね残り1分で9-2と一気に突き放す。第2ピリオド残り4分TMC#4の連続シュートが決まり点差を縮め12-7で前半を折り返す。第3ピリオドTMCの連続シュートで逆転し7点差で第3ピリオド終了。第4ピリオド開始直後から両チーム得点を入れ攻防が続く。リトルパンダの外からのシュートが決まり残り3分で2点差まで追いつくが、TMC#17の3Pシュートで得点差を広げる。リトルパンダも追い上げるが、TMCが逃げ切った。
B-3	⑥	芦屋シーサイド	41	6 － 6 6 － 5 13 － 10 16 － 12	33	ラウンド	岡田　泰英 元田　昌志	ラウンド#8ミドルシュートで先行。シーサイドはセンターにWチームで来られ苦戦するも芦屋シーサイド#15のフリースローで同点。両者ディフェンスが良い。第2ピリオドは芦屋シーサイドがオフェンス、ディフェンスリバウンドを制す。第3ピリオドシーサイド#7のシュートに始まり両者オフェンスでの動きが激しくなりファウルも増えるが、芦屋シーサイド#15の得点により4点差。第4ピリオド、オフェンス力が上がりシュートも増えるがリバウンド力で芦屋シーサイドの優勢、残り1分ラウンド#18が3Pシュートを決めるがオールコートディフェンスでファウル、芦屋シーサイドはフリースローで点差をつけたまま逃げ切った。
B-4		TMC	46	12 － 8 14 － 2 14 － 5 6 － 6	21	CZ倶楽部	内田　理恵 矢野　康晴	第1ピリオド残り3分40秒TMC#13バスケットカウントで8-7に追いつきTMC#15のシュートでTMCが8-9に逆転し、波に乗る。第2ピリオドCZ倶楽部は何本か速攻で形を作るも攻めきれず、TMCが確実に点数を重ね残り58秒TMC #4の3Pシュートで10-23に点差を広げる。第3ピリオドTMC #4 の3Pシュートを含め確実に点数を重ねる。CZ倶楽部はTMCの堅守で攻めあぐね、決め手をかいた。第4ピリオドTMCはオフェンス、ディフェンス共リズムに乗り確実にゴールを重ね危なげない試合運び、CZ倶楽部はシュートまで行くも決まらず点差が開いてしまった。
B-5	⑧	Funnyゴールド	55	20 － 3 7 － 18 11 － 15 17 － 10	46	桜香クラブ	能田　浩三 元田　昌志	第1ピリオド、Funnyゴールド#15の得点に始まり、#14の3Pシュートを含む連続得点で優位になる。対する桜花クラブ#18など長身プレイヤーを活かした攻撃をしかけるが決め手に欠く。第2ピリオド後半に入り、桜花クラブがリズムを掴み桜香クラブ#10,#16らのシュートで追い上げ白熱した戦いとなり、27-21で折り返し。第3ピリオド残り3分で31-31の同点となる。両チーム共粘り強いディフェンス。第4ピリオドは2点差でスタート、Funnyゴールドの#13,#14,#15のリバウンド、ドライブインなどで均衡を破りFunnyゴールドの勝利。

第３日目：平成26年5月4日

Aコート								戦評
ｺｰﾄ順序	ゲーム	チーム名	得点			チーム名	審判	
A-1		アゲインズ	46	23 － 4 8 － 6 8 － 7 7 － 7	24	ラウンド	長谷川 肇 山本 歩	第1ピリオド、アゲインズ3Pシュートで勢いに乗り、スティ―ルからの速攻で主導権を握る。第2ピリオド、ラウンドはゾーンディフェンスで対抗しチャンスを狙う。第3ピリオド、ラウンドの粘り強いディフェンスを繰り広げ果敢に攻め均衡した状態。第4ピリオド、アゲインズは巧みなパスワークで得点を重ね優位にすすめて逃げ切った。
A-3	準決勝	エンドレス	41	11 － 7 16 － 6 4 － 4 10 － 7	24	芦屋シーサイド	大國 元久 吉田 寛	第1ピリオド、立ち上がりはシュートが決まらず互角の戦いが続く。第2ピリオド、始めからエンドレスのリバウンドからの速攻と、エンドレス＃9の3Pで点差を広げる。第3ピリオド激しいディフェンスの攻防でファールがかさみ、シュートが決まらず互角の戦いが続いた。第4ピリオド、エンドレスのペースで進んだが、終盤、芦屋シーサイドの激しいディフェンスから猛攻をかけるが、点数を縮められずタイムアップ。
A-4	5･6位決定戦	桜香クラブ	34	4 － 24 13 － 5 8 － 15 9 － 9	53	アゲインズ	福田 祥寛 中山 正之	第1ピリオド、アゲインズは巧みなパスからのステップインとアゲインズ＃9藤原の3Pで得点を重ねる。第2ピリオド、桜香クラブ＃8の立て続けのシュートでリズムをつかみ次々と加点していく。第3ピリオド、白熱した戦いが続くが、スピードのある展開でアゲインズが地力を発揮する。第4ピリオド、桜香クラブは少しでも点差を縮めようと全員がリングに攻め込むがアゲインズが逃げ切った。
A-6	決勝	Funnyゴールド	34	7 － 17 8 － 20 9 － 5 10 － 15	57	エンドレス	阪田 真一 能田 浩三	第1ピリオド、エンドレスは巧みなパスワークからのロングシュートを重ね着実に得点を重ねる。第2ピリオド、Funnyゴールドも＃15のドライブインで追い上げるが、残り4分からエンドレスの連続得点でリードを広げる。第3ピリオド、Funnyゴールドは＃15を中心に果敢に攻める。第4ピリオド、反撃したいFunnyゴールドだが、堅いディフェンスから確実に得点を重ねるエンドレスが引き離しにかかり、そのまま試合終了。

第３日目：平成26年５月４日

Bコート								戦評
ｺｰﾄ順序	ゲーム	チーム名	得点			チーム名	審判	
B-1		西神ママドル	15	6 － 13 0 － 14 3 － 16 6 － 13	56	桜香クラブ	右田 准也 鈴木 智起	第1ピリオド、西神ママドルの連続ファールをきっかけに桜香クラブは流れをつかみリードする。第2ピリオド、両チーム共にパスミスが目立ち得点が伸びなかったが、残り2分で桜香クラブが波にのる。第3ピリオド、桜香クラブはマンツーマン、西神ママドルはゾーンディフェンスで始まる。桜香クラブのパス回しに西神ママドルが追いつかず苦戦する。第4ピリオドも桜香クラブのペースで多彩に攻め得点する。西神ママドルもくいさがるが桜香クラブが突き放し勝利する。
B-3		Hime Ｇ！	36	13 － 6 6 － 12 9 － 16 8 － 16	50	Funnyゴールド	尾崎 浩行 岡田 泰英	第1ピリオド、両チーム互角の戦いの中アウトサイドのシュートを決めてきたHime Ｇ！リードで終了。第2ピリオド、残り2分、Funnyゴールドのシュートで1点差にまで追い上げる。第3ピリオド、Funnyゴールド＃15の連続カットインで逆転に成功。その後波にのりFunnyゴールドが6点リード。第4ピリオド、ボール回しが安定してきたFunnyゴールドが＃15の多彩なプレイで点差を広げゲームセット。
B-4	7･8位決定戦	ラウンド	33	7 － 10 7 － 6 13 － 6 6 － 10	32	西神ママドル	能田 浩三 鈴木 智起	第1ピリオド、白熱した戦いとなる。ラウンドが3点リードで終了。第2ピリオド、リズムをつかんでいた西神ママドルが優位にたったようにみえたが、ラウンドのディフェンスに押され主導権が入れ替わる。第3ピリオド、両チーム苦戦、残り2分からラウンドが連続得点でリード。第4ピリオド、ラウンドが一気に突き放しにかかるが、西神ママドルも懸命に後を追う。残り3秒1点差まで縮めたがラウンドが逃げ切った。
B-6	3･4位決定戦	芦屋シーサイド	18	6 － 5 4 － 6 0 － 15 8 － 13	39	Hime Ｇ！	福田 祥寛 中山 正之	第1ピリオド、両チーム一進一退の互角の戦い。第2ピリオド、互角の戦いが続く。第3ピリオド、Hime Ｇ！の堅守にはばまれ芦屋シーサイドは得点することができない。Hime Ｇ！は＃13、＃6の得点がかさみ突き放す。第4ピリオド、速攻が決まるなど終始、Hime Ｇ！のペースですすんで試合終了。

1位	エンドレス	5位	アゲインズ
2位	Funnyゴールド	6位	桜香クラブ
3位	Hime　G！	7位	ラウンド
4位	芦屋シーサイド	8位	西神ママドル